

木材産業分野における外国人受け入れ優良事例

特定技能
1号

技能実習

特定活動
(緊急避難措置)

業務内・業務外両面でのコミュニケーションを重視し、日本人・外国人の垣根を越えたチームワークを醸成。

事業者名	株式会社ネクスト 朝倉工場
事業	製材加工
事業所所在地	福岡県朝倉市杷木久喜宮839
雇用外国人	特定技能2人(インドネシア)、技能実習2人(ミャンマー)、特定活動1人(ミャンマー)
採用要件	技能習得意欲や具体的な貯金意欲など、来日の目的がはっきりしていること 等
登録支援機関等の取引基準	これまでの支援実績、入国前の日本語・生活等の教育内容、来日後の母国語によるサポート体制 等
宗教等への配慮	イスラム教が多いインドネシア人に配慮し、社員寮にキッチンを増設した
不法就労対策	在留カード等の確認を実施する
安全管理・対策	毎朝、朝礼で注意喚起をしている
定着・育成施策	・日本人社員との面談を定期的を実施するなど、相談できる環境を形成している ・プライベートでも祭りや観光に参加・引率し、地域に対する愛着を持ってもらうような取り組みをおこなっている
日本語学習支援	日本語での会話を率先することが第一だが、スマホの翻訳アプリも活用している
生活支援	・工場敷地内に社員寮を構えて個室を提供している ・宿舍内のゴミは産業廃棄物として会社で処理をしている
自社が選ばれる要因	日本人・外国人共に仲間意識が強く、働きやすさを感じているのではないかと(これまでも失踪は発生していない)



工場敷地内の社員寮では個室を提供



地元名所観光や祭りへの参加も積極的

上記情報はインタビュー実施(2025年12月17日(水))時点のものとなります。

林野庁

木材産業分野における外国人受け入れ優良事例

技能実習

身分に関する
在留資格

毎年の昇給や年3回の賞与支給を確実に実施することで働きがい醸成。日本人との交流や評価も仕組み化。

事業者名	外山木材株式会社 志布志工場
事業	製材加工
事業所所在地	鹿児島県志布志市有明町伊崎田4153-1
雇用外国人	技能実習28人(ミャンマー)、配偶者1人(ベトナム) ※派遣社員にもインドネシア人が在籍
採用要件	就労意欲の高さ、日本語能力N4レベル(推奨)、入国前の半年以上の講習受講 等
登録支援機関等の 取引基準	採用・入国手対応・入国前後の講習・入社後フォロー等の一貫性、定期的な巡回(宿舍含む)や面談の体制 等
宗教等への配慮	日本人社員に対して宗教上の配慮に関する通知・指示を実施
不法就労対策	在留カード等の確認を実施する
安全管理・対策	月1回の危険予知活動・ヒヤリハット報告等、危険箇所明示の母国語対応 等
定着・育成施策	・ 物価上昇を上回る定期昇給の実施、決算賞与の支給 ・ 事務所職員・管理者による毎日の日報(現場役職者は毎週の日報) ・ 人事担当役員による月1回の面談、総務経理部による月1回のランチミーティング
日本語学習支援	日本人との積極的な会話の励行(日本人に対しても交流を指示)、業務配置の分散
生活支援	・ 工場敷地内に社員寮を構えて個室を提供している ・ 電動自転車・ヘルメット・反射板を無償提供している
自社が選ばれる要因	・ 高水準な給与設定・昇給・昇格、一定の残業時間の確保 ・ 良好な人間関係の構築(日本人・外国人問わず、重大なパワーハラスメントもなし)



面接翌日には合格者の家族とも面談



業務中も積極的に日本語で対話を実施



工場敷地内の社員寮では個室を提供

上記情報はインタビュー実施(2026年1月22日(木))時点のものとなります。

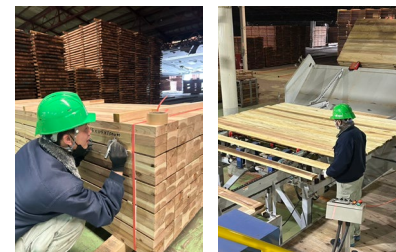
林野庁

木材産業分野における外国人受け入れ優良事例

技能実習

初めての外国人技能実習生受入れにあたって、日本人側の意見交換や意識改革を実施。

事業者名	株式会社トーセン デカーレ矢板
事業	製材加工、山林経営、エネルギー事業
事業所所在地	栃木県矢板市早川町174番地2
雇用外国人	技能実習5人(ベトナム) ※令和7年6月から初めての受け入れ
採用要件	製造作業に対応できるか、人柄と言葉や技術を学ぶ姿勢 等（面接と体力テスト）
登録支援機関等の取引基準	入社前後のフォロー・サポートの手厚さ（宿舍や家具家電の手配、入社時の通訳 等）
宗教等への配慮	日本人職員に対する事前研修の実施（「当たり前」のギャップを埋めることを重視）
不法就労対策	外国人は技能実習生のみ雇用
安全管理・対策	入社時に監理団体職員が2週間、工場内に駐在して業務に関する通訳を実施
定着・育成施策	- 月に1回の事業所単位の夕食会、年に1回の会社全体での慰労会の開催 - 日本人側の意識改革を実施（技能実習生の入社前に日本人指導者での意見交換会の実施、わからないことを聞けるような指示・指導の方法の徹底 等） ⇒ 受入れコストは高いものの、育成の視点を日本人社員が持つようになった
日本語学習支援	日本人とのコミュニケーションの励行（現場の日本人社員が積極的に交流している）
生活支援	- 地元警察と定期的な情報交換を行い、トラブル事例を技能実習生に共有している - 監理団体の事務所が宿舍のすぐそばにあるため、生活上の相談対応が即時に可能
自社が選ばれる要因	- ルールありきでない技能実習生への配慮の姿勢（年次有給休暇の柔軟な対応 等） - 単なる労働者ではなく、1人の人間として接している



令和7年6月から同社で初めての技能実習生を受け入れ開始



初めての受入れにあたり、日本人対象の意見交換会・研修を実施



技能実習生との交流機会も意識的に設定

上記情報はインタビュー実施（2026年3月2日（月））時点のものとなります。

林野庁

木材産業分野における外国人受け入れ優良事例

技能実習
(1年実習)

1年間の技能実習にも関わらず、技能実習生が1人で業務を任されることもあり、労災事故の発生もゼロ。

事業者名	株式会社オロチ
事業	単板積層材(LVL)製造
事業所所在地	鳥取県日野郡日南町下石見1829-103 日野川の森林(もり)木材団地
雇用外国人	技能実習5人(ベトナム、フィリピン)
採用要件	日本語習熟度、夜勤経験 等(年齢制限は設定していない)
登録支援機関等の取引基準	雇用管理や生活支援に関する実績・サポート体制
宗教等への配慮	技能実習生の申し出・相談を受けて都度柔軟に対応
不法就労対策	技能実習生以外の外国人の雇用実績は無し
安全管理・対策	安全教育の徹底、危険行動には文書(母国語併記)で指導(これまでに外国人の労災発生なし)
定着・育成施策	・ 会社全体で懇親会を開催(親睦バーベキュー) ・ 業務上で必要な資格取得のための費用は会社で負担
日本語学習支援	グループの中で日本語能力が高い技能実習生が業務をとりまとめている
生活支援	・ 通勤時は同じシフトの社員が車で送迎している ・ 入社時に精米1人15kgを提供している(入社後も随時、食べ物や飲み物を提供) ・ ゴミは、本人たちが大まかな分別をした上で、最終的には社員が分別している
自社が選ばれる要因	・ 家賃を低くおさえる等、収入の確保に努めている ・ 日本人による技能実習生のプライベートへの立ち入りは極力避けている



定期的に徹底した安全教育を実施



1年間で1人で担う業務も任されている



社内の親睦会や地域の国際交流会にも参加

上記情報はインタビュー実施(2026年3月4日(水))時点のものとなります。

林野庁